

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事等役員一覧

| | 役職 | 氏名 | 所属先役職等 |
|---|------|---------|--|
| 1 | 名誉会長 | 御手洗 富士夫 | 一般社団法人日本経済団体連合会名誉会長/キヤノン株式会社代表取締役会長CEO |

| | 役職 | 氏名 | 所属先役職等 |
|----|-----------------|----------------|---|
| 1 | 会長 | 森 喜朗 | 元内閣総理大臣/公益財団法人日本体育協会名誉会長 |
| 2 | 副会長 | 津賀 一宏 | パナソニック株式会社代表取締役社長 |
| 3 | | 富岡 勉 | 文部科学副大臣/内閣府副大臣 |
| 4 | | 河野 一郎 | 公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構理事 |
| 5 | | 竹田 恒和 | 国際オリンピック委員会委員/公益財団法人日本オリンピック委員会会長 |
| 6 | | 山脇 康 | 国際パラリンピック委員会理事/公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会委員長 |
| 7 | | 新 山本 隆 | 東京都副知事 |
| 8 | | 専務理事 (事務総長) | 武藤 敏郎 |
| 9 | 常務理事 (副事務総長) | 布村 幸彦 | 元文部科学省スポーツ・青少年局長 |
| 10 | | 佐藤 広 | 元東京都副知事 |
| 11 | 常務理事 | 河野 博文 | 公益財団法人日本オリンピック委員会副会長/公益財団法人日本セーリング連盟会長 |
| 12 | 理事 | 平岡 英介 | 公益財団法人日本オリンピック委員会専務理事 |
| 13 | | 橋本 聖子 | 公益財団法人日本オリンピック委員会常務理事・選手強化本部長/参議院議員 |
| 14 | | 荒木田 裕子 | 公益財団法人日本オリンピック委員会 アスリート専門部会副会長 |
| 15 | | 中森 邦男 | 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会事務局長 |
| 16 | | 塩見 清仁 | 東京都オリンピック・パラリンピック準備局長 |
| 17 | | 米村 敏朗 | 前内閣危機管理監/元警視總監 |
| 18 | | 室伏 広治 | オリンピック(陸上)/東京医科歯科大学教授 |
| 19 | | 谷本 歩実 | オリンピック(柔道) |
| 20 | | 田中 理恵 | オリンピック(体操)/日本体育大学助教 |
| 21 | | 成田 真由美 | パラリンピアン(水泳)/日本テレビ放送網株式会社 |
| 22 | | 横川 浩 | 公益財団法人日本陸上競技連盟会長 |
| 23 | | 泉 正文 | 公益財団法人日本体育協会専務理事 |
| 24 | | ヨーコ ゼッターランド | 公益財団法人日本体育協会理事/嘉悦大学准教授 |
| 25 | | 萩生田 光一 | 2020年東京オリンピック・パラリンピック大会推進議員連盟幹事長代理 |
| 26 | | 川井 しげお | 東京都議会議長/2020年オリンピック・パラリンピックを成功させる議員連盟会長 |
| 27 | | 高島 なおき | 東京都議会議員/オリンピック・パラリンピック等推進対策特別委員会委員長 |
| 28 | | 河野 雅治 | 日本政府代表 / 中東和平担当特使 |
| 29 | | 松本 正義 | 住友電気工業株式会社社長 / 近畿陸上競技協会副会長 / 公益財団法人日本陸上競技連盟評議員/ 一般財団法人大阪陸上競技協会会長 |
| 30 | | 麻生 泰 | 麻生セメント株式会社代表取締役会長 |
| 31 | | 小林 耕士 | 株式会社デンソー取締役副会長 |
| 32 | | 鈴木 大地 | スポーツ庁長官 |
| 33 | | 秋元 康 | 作詞家 |
| 34 | | 蜷川 実花 | 写真家/映画監督 |
| 35 | | 高橋 治之 | 株式会社コムズ代表取締役会長 |

| | 役職 | 氏名 | 所属先役職等 |
|---|----|-------|---------------------|
| 1 | 監事 | 黒川 光隆 | 公益財団法人日本オリンピック委員会監事 |
| 2 | 〃 | 長谷川 明 | 東京都財務局長 |

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
新副会長プロフィール



山本 隆（やまもと たかし）副会長 昭和 35 年 3 月 31 日生

東京都副知事

1982 年入都。以降、広尾病院事務局医事課長、総務局行政部副参事、港湾局
総務部計理課長、知事本局企画調整部総務課長（統括）、

知事本局参事、港湾局監理団体改革担当部長、会計管理局管理部長、

港湾局総務部長、産業労働局理事、産業労働局次長、産業労働局長を務める。

2016 年 6 月より現職。



アクション&レガシープラン2016の策定及び東京2020参画プログラム（仮称）について

2016年07月25日

目 次

- I. アクション&レガシープラン2016の策定について
 - 1. 全体概要
 - 2. プランの構成及び策定に向けた重要な視点
 - 3. 2020年に向けたスケジュール
- II. 東京2020参画プログラム（仮称）について
 - 1. 東京2020参画プログラム（仮称）とは
 - 2. プログラムの枠組み
 - 3. 実施可能な事項と留意事項
 - 4. プログラム参画のメリット
 - 5. 2016年8月からの申請対象団体
 - 6. 対象となるアクション（審査基準・要件）
 - 7. 申請方法
 - 8. 今後のスケジュール

I. アクション&レガシープラン2016の策定について

1. 全体概要

Tokyo 2020 Vision

スポーツには、世界と未来を変える力がある。
1964年の東京大会は日本を大きく変えた。2020年の東京大会は

「すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）」

「一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）」

「そして、未来につなげよう（未来への継承）」を

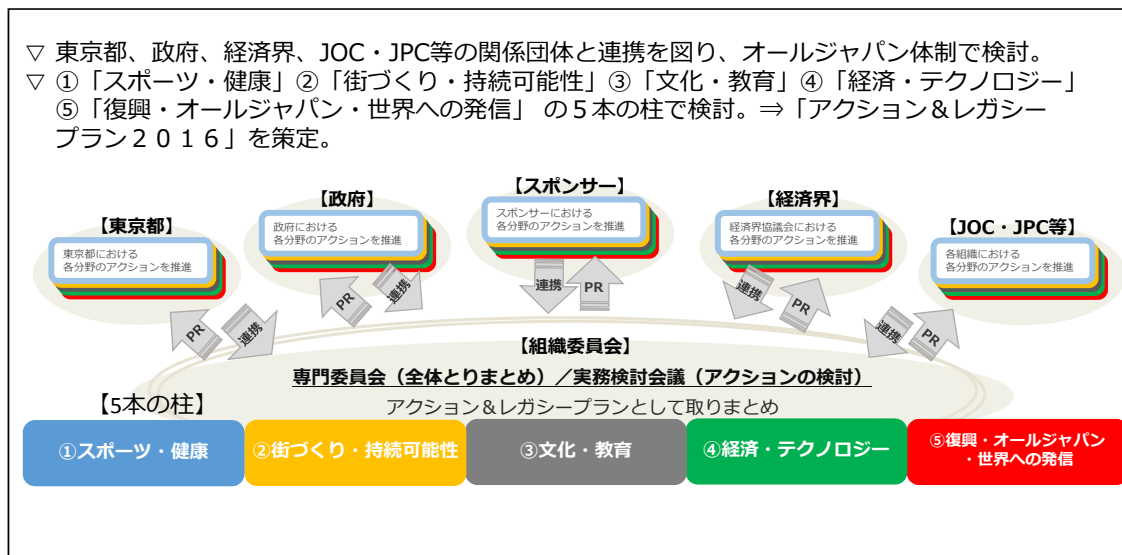
3つの基本コンセプトとし、史上最もイノベティブで
世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

(1) 基本的な考え方（アクション&レガシープラン）

- ▽ 『オリンピック・パラリンピックは参加することに意義がある』とあるように、できるだけ多くの方々、自治体や団体に参画していただく【アクション】。
 - ▽ 大会ビジョンで「スポーツには世界と未来を変える力がある」を掲げ、その力で、東京2020大会をきっかけにポジティブな影響を残し、聖火リレーのように、次代を担う若者や子供たちに継承していく【レガシー】。
- ↓
- ▽ 『アクション&レガシープラン』は、一人でも多くの方が参画【アクション】し、大会をきっかけにした成果を未来に継承する【レガシー】ためのプラン。

1. 全体概要

(2) オールジャパンでの取組



4

TOKYO 2020

2. プランの構成及び策定に向けた重要な視点

(1) アクション&レガシープラン2016の構成

| | 概要 |
|-----------------------|---|
| 第一章：はじめに | アクション&レガシープランの全体像 |
| 第二章：スポーツ・健康 | 各章の基本的な構成 ・基本的な考え方（〇〇〇〇とオリンピック・パラリンピック） ・現状と課題：今何が課題となっているか ・レガシー：2020年以降を見据え、何を後世に残すべきか ・アクション：2020年を目指し、今何を行うべきか（主な例） |
| 第三章：街づくり・持続可能性 | |
| 第四章：文化・教育 | |
| 第五章：経済・テクノロジー | |
| 第六章：復興・オールジャパン・世界への発信 | |
| 付表①：アクション一覧 | |
| 付表②：2016年度下半期アクション一覧 | 政府、都道府県、関係自治体、JOC、JPC、スポンサー、経済界等の2016年度下半期アクションを記載 |

5

TOKYO 2020

2. プランの構成及び策定に向けた重要な視点

(2) アクション&レガシープラン2016の策定に向けた重要な視点

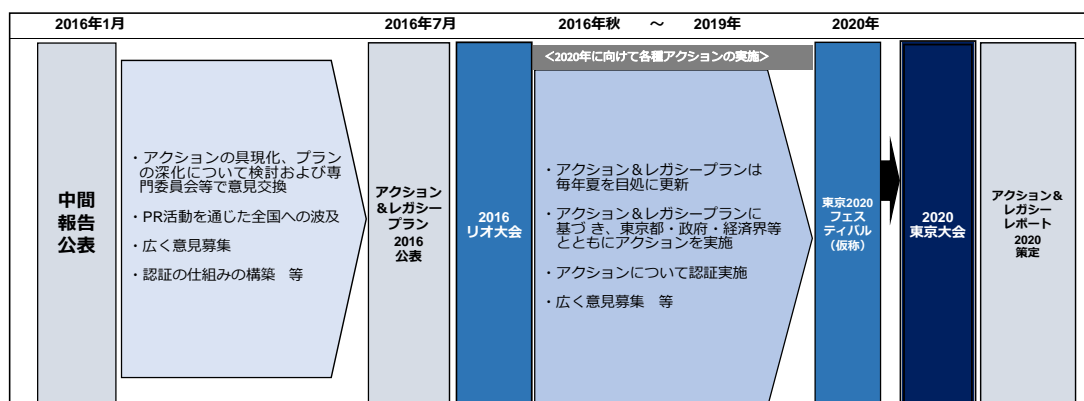
- ①『参画』
- 各ステークホルダーのアクション（イベント・事業等）に対して「認証」する仕組みをリオ大会前までに構築する。
 - 多くのアクションが全国で実施され、できるだけ多くの方々、自治体や団体に主体的に参画していただき、盛り上げを図る。
- ②『パラリンピック』
- パラリンピックは、世界最高峰の国際障がい者スポーツ大会であり、人間のもつ能力の可能性に気づく機会でもある。
 - 東京2020大会は、同一都市で2回目のオリンピック・パラリンピックを同時に開催する初めての大会。大会そのものの成功はもちろんのこと、障がい者の社会参加の促進や多様性への理解の推進などを図る。
- ③『2018～2022年の間の大規模大会との連携』
- 東京2020大会を単なる一過性のイベントとするのではなく、東京、オールジャパン、そしてアジア・世界にポジティブな影響を与え、レガシーとして創出されることを企図している。
 - オリンピック・パラリンピック大会（2018年 平昌（韓国）・2020年 東京（日本）・2022年 北京（中国））、日本でのラグビーワールドカップ2019（2019年）、関西ワールドマスターズゲームズ2021（2021年）といった世界的な大規模スポーツ大会との連携を図る。

6

TOKYO 2020

3. 2020年に向けたスケジュール

- 今後、アクション&レガシープランは毎年夏を目処に更新。過去約1年間のアクションの実績と、当該年度に実施される見込のアクションを掲載
- 東京2020大会終了時点で、ファイナルレポートとして、「アクション&レガシーレポート2020」を策定



7

TOKYO 2020

II.東京2020参画プログラム（仮称）について

1. 東京2020参画プログラム（仮称）とは

～オリンピック・パラリンピックは参加することに意義がある～ ※

東京2020大会ビジョン

ビジョンの提示

スポーツには世界と未来を変える力がある。

- ・すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）
- ・一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）
- ・そして、未来につなげよう（未来への継承）

アクション& レガシープラン2016

アクションやレガシーの方向性等を提示

東京2020大会に参画しよう。そして、未来につなげよう。

- ・一人でも多くの方が参画【アクション】し、大会をきっかけにしたアクションの成果を未来に継承する【レガシー】ためのプラン

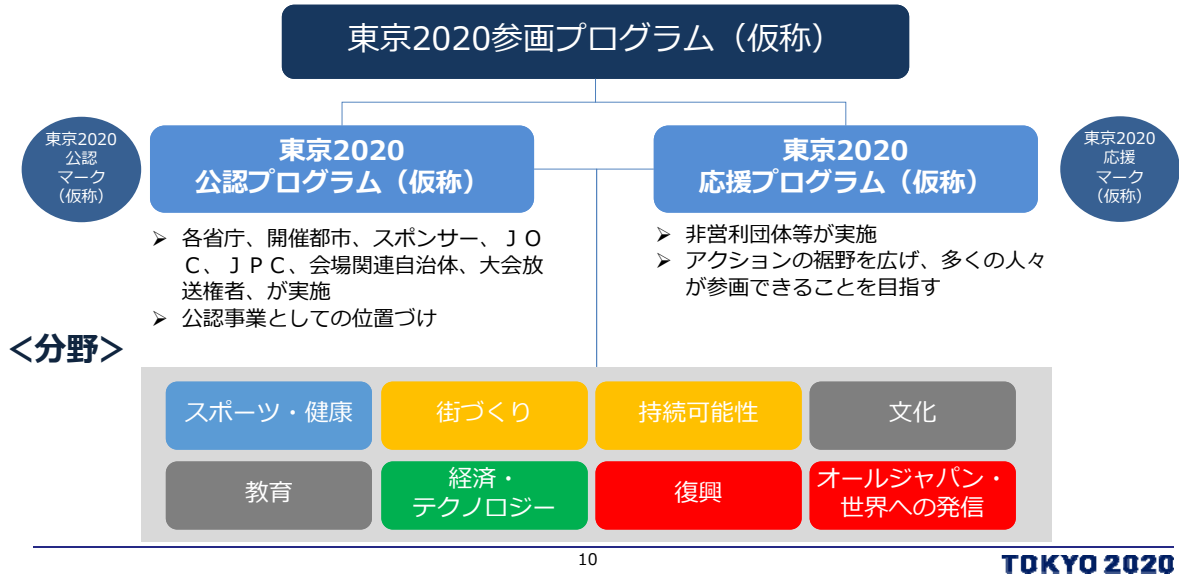
東京2020 参画プログラム（仮称）

様々な組織・団体がオリンピック・パラリンピックとつながりを持ちながら大会に向けた参画・機運醸成・レガシー創出に向けたアクションが実施できる仕組み（組織・団体のアクションへの認証・マーク付与） ※

※大会エンブレムは、使用が認められる団体に対して付与されるもの

2. プログラムの枠組み

<2つのプログラム>



3. 実施可能な事項と留意事項

■ 認証を受けることで実施可能な事項 (※1)

- 東京2020公認マーク (仮称) または東京2020応援マーク (仮称) 及び各プログラム名の使用
- 「オリンピック・パラリンピック」文言の使用 (文言はIOC・IPCの知的財産としての保護対象)
 - ▶ 「東京2020公認プログラム (仮称)」: オリンピック・パラリンピック大会そのもの、組織委員会の主催と誤認されない表現に限り、アクションのタイトルや説明文等への文言使用
例) ×: オリンピック・ウォーキング (直接的な形容詞として使用)
○: オリンピックの盛り上げに向けたウォーキング (句として修飾)
 - ▶ 「東京2020応援プログラム (仮称)」: タイトル以外 (説明文等) への文言使用 等

■ 留意事項 (マーケティング上の観点)

- マークを付与されるアクションは、スポンサーを除き商用・宣伝目的の製品利用は認められない
- 非スポンサー製品等の企業名や製品名に関する配慮が必要
- 新規調達の際に適用法令の範囲内でスポンサーからの調達を推奨 等

※1: 使用 (掲出) 方法については組織委員会の確認が必要

4. プログラム参画のメリット

■東京2020大会とつながる（オリンピック・パラリンピック大会の機運醸成）

- オリンピック・パラリンピックとの関連性・つながりを生み出すことができる
⇒アクション主催者・参加者等に東京2020大会に向けた参加感を創出

■地域でつながる（地域住民や関係団体等との連携）

- 主催者と参加者、参加者同士のつながり等、新たな関係性を構築することができる
⇒地域が連携して機運を盛り上げていく機会を創出

■全国とつながる（活動の知名度向上と連携の拡大）

- 組織委員会から全国への情報発信を通じ、地域や団体の情報を広くPRすることができる
⇒活動の知名度向上と他団体等との幅広い連携に向けた機会を拡大

■未来につながる（次世代とのつながりやレガシーの創出）

- 幅広い交流を通じ、未来に残すべき伝統、知恵等を次の世代に継承する機会を生み出すことができる
⇒幅広い参画・交流や継続的な実施等を通じて、未来（レガシー）につながる機会を創出

12

5. 2016年8月からの申請対象団体 ※10月以降のアクションが対象

【2016年10月開始】

東京2020公認プログラム（仮称）
〈東京2020公認マーク（仮称）付与〉

- 政府（各省庁）
- 開催都市（東京都・区市町村）
- スポンサー
- JOC、JPC
- 会場関連自治体（道県・市町）
- 大会放送権者

【2017年度開始。2016年10月から一部先行開始】

東京2020応援プログラム（仮称）
〈東京2020応援マーク（仮称）付与〉（※1）

- スポーツ関連
 - 日本障がい者スポーツ協会
 - 日本スポーツ振興センター
 - 日本体育協会
- 文化関連
 - 日本芸術文化振興会
 - 国際交流基金
 - 東京都歴史文化財団
 - 日本芸能実演家団体協議会
- 経済関連
 - 経済界協議会
（構成団体※含む）
- 地域関連
 - 会場関連自治体以外の府県、政令市

※1：2016年8月からの申請対象は、原則として組織委員会が直接申請を受け付ける団体とし、今後、会場関連自治体以外の市町村や非営利団体などに、順次拡大する予定

※構成団体：日本経済団体連合会、経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所 13

TOKYO 2020

6. 対象となるアクション（審査基準・要件）

- 以下の審査基準を満たすアクションを総合的に審査し、認証する
- 詳細はガイドラインを参照

実施の基礎要件

- 公益性、参加可能性、非悪質、非宗教・非政治、安全性、非営利性、適切性を満たすこと
- オリンピック・パラリンピック憲章又はオリンピック・パラリンピックの趣旨に照らして適切と認められること
- 東京2020大会スポンサーのマーケティングルールを順守すること

大会ビジョンとの合致

- ①全員が自己ベスト ②多様性と調和 ③未来への継承、の趣旨と合致していること

目指すべきレガシーコンセプト等との合致

- 各分野のいずれかのレガシーコンセプトに合致していること
- 例えば、文化オリンピアードのコンセプトは以下の通り

コンセプト①：日本文化の再認識と継承・発展

コンセプト②：次世代育成と新たな文化芸術の創造

コンセプト③：日本文化の世界への発信と国際交流

コンセプト④：全国展開によるあらゆる人の参加・交流と地域の活性化

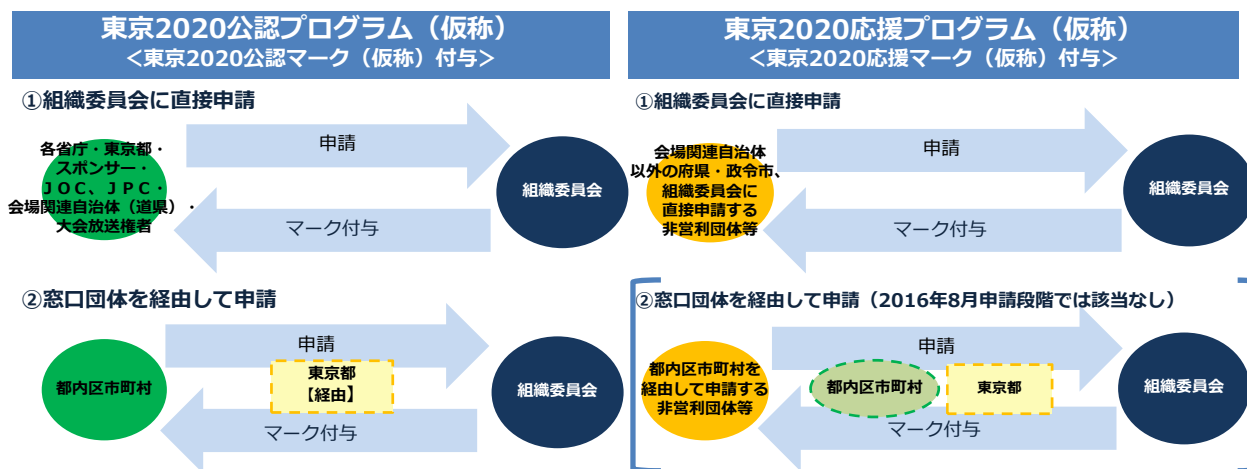
14

TOKYO 2020

7. 申請方法

<申請の流れ>

- 申請の流れは、①組織委員会に直接申請 ②窓口団体を經由した申請 の2パターン（団体によって異なる）
- 問い合わせ等に向けて組織委員会でコールセンターや申請申込用アドレスを設置



※会場関連自治体（市町）を含む全国の市町村やその他の非営利団体等については、今後調整

15

TOKYO 2020

7. 申請方法

<提出書類>

- 提出資料は全て電子媒体(Microsoft Word及びExcel形式)で、メールで提出
- マーク付与が必要なタイミングから1ヶ月前までに提出

申請書一式 (必須)

- 申請書
- 誓約書兼同意書
- マーク等の使用に関する確認書

添付資料 (必須)

- 事業企画書・計画書
- 事業収支計画書 (収入と支出がわかるもの)
- 事業体制 (取組に関わる組織・団体の記載があるもの)
- マークを使用した製作物イメージ (マーク記載方法がわかるもの)

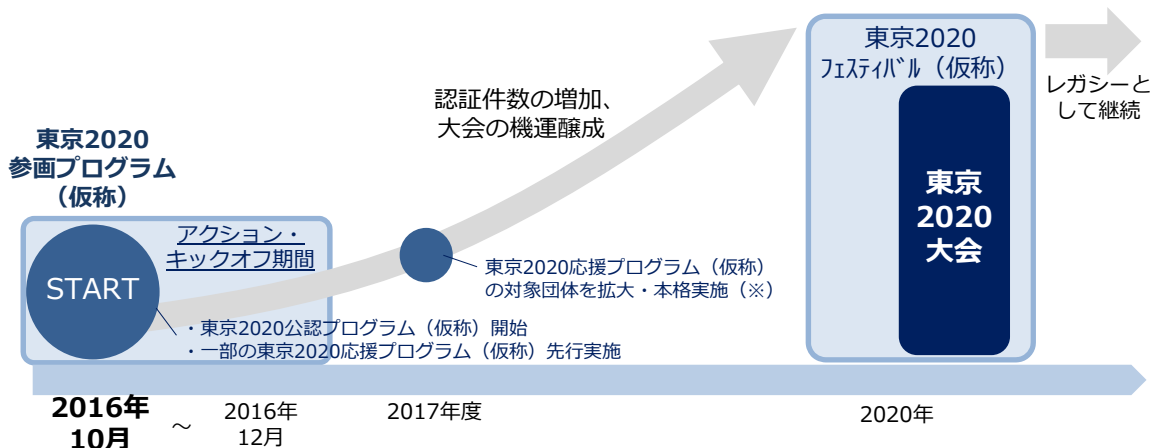
<イベントの場合>

- 運営詳細がわかるもの (運営マニュアル、進行台本等)
- (有料の場合) チケット情報 (料金等がわかるもの)
- (展示がある場合) 出展計画書 (出展者が全てわかるもの)
- マークの展示の仕方・掲示方法がわかるもの

※今後、対象を拡大する際に、非営利団体について、地元自治体等が後援対象とできるか、あるいはそれに代わる仕組みにより、団体確認をすることなどを要件とすることを検討

8. 今後のスケジュール

この秋から、2020年に向けて、東京2020参画プログラム (仮称) が始まります！



※東京2020参画プログラム (仮称) についてはIOC と継続的な調整が必要なこと、また、立ち上げ時には案件毎の審査を丁寧に行う必要があること等を鑑みると、2016年10月のスタート時は、まずは対応可能な範囲でスタートさせ、その後、段階的に対象を拡大していく予定 (例) 都内の区市町村を経由して申請する非営利団体は、2017年度から申請対象とする予定

東京2020を楽しみに、未来へとつながる

徐々に全国に拡がり、
オールジャパンで盛り上げます！

大会の後も、みんなの創った
財産が、レガシーとして
日本の歴史に

みんなで創る、東京2020大会
この秋からキックオフ！

キック
オフ

8つの分野で

様々な取り組み
が開催

2016年10月

徐々に
全国に拡大

様々な人とが
つながっていく

2017年

全国でより多く
の団体が参加

2020年に向け
た機運を醸成

2020年

東京2020
大会

東京2020
フェスティバル
(仮)

2020年～

そして
未来へ

この秋から、

資料 2 - 2

1

東京2020参画プログラムが始まります！



TOKYO 2020



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES



東京2020大会は、2016年秋からスタートします
東京2020大会には関連イベントを通じ全国で参画できます

●この秋から、全国自治体、非営利団体、東京2020大会スポンサーなどが主催する関連イベントが開催されます。

●これらのイベントは、大会関連マークのもと、東京2020参画プログラムとして、同じ思いを持って繰り広げられます。

●あなたのまちや地域で開催されるこれらのイベントを通じて、いち早く東京2020大会に参画してください



あなたのまちから 東京2020大会につながろう!

8つのテーマでみんなをつなぐ、動かす、そして未来へ

東京2020参画プログラムは、以下の大きく8つのテーマのもと、様々なイベントや事業が様々な主催者により開催されます。

スポーツ・健康

- ・スポーツ(運動)の力による健康づくりの推進
- ・アスリートが競技以外でも活躍する社会の実現
- ・障がい者スポーツのファン拡大や環境整備

街づくり

- ・ユニバーサルデザインに配慮した街づくり
- ・日本各地の自然環境を活かした快適で賑わいのある街づくり
- ・ICT技術の活用やエネルギーマネジメントの応用などによる都市の賢いマネジメント
- ・安心・安全な都市の実現

持続可能性

- ・持続可能な低炭素都市の実現
- ・持続可能な資源利用の実現
- ・水・緑・生物多様性に配慮した快適な都市環境の実現
- ・人権・労働慣行等に配慮した社会の実現

文化

- ・本物を体験し新たな魅力を発見
- ・これまでにない文化芸術・新たな表現を創造
- ・世界中の人たちと共同制作
- ・和(WA)で世界が、地域が、皆がつながる

教育

- ・全国の小、中、高等学校等でオリンピック・パラリンピック教育を実施
- ・オリンピック・パラリンピックやスポーツの価値、多様性等の理解促進
- ・大学連携やパートナー企業の協力等による参画促進

経済・テクノロジー

- ・高性能な経済の構築、地方や中小企業等の底力の発揮、展示会を通じた魅力の発信
- ・映像や多言語対応等による感動の共有、人に優しいバリアフリー技術の活用、防災・防犯等における高信頼・高品質の安全、環境に優しい水素社会の構築

復興

- ・大会が生み出すポジティブな影響を被災地復興の後押しに
- ・被災地の“現在”、そして“未来”を世界に提示

オールジャパン ・世界への発信

- ・全国の人びとが、日本の魅力、地域の魅力を発信し、世界とのつながりの強化
- ・様々な連携のあり方を、アクションを通じて構築

※上記の内容は各テーマごとの取り組みの例示であり全ての内容を網羅しているものではありません。



東京2020大会 P R メッセージについて

2016年7月25日

東京2020大会 P R メッセージの考え方

リオ2016大会から秋にかけての広報機会

- 現地：IOC総会プレゼンテーション、Tokyo2020 JAPAN HOUSEでの記者会見 など
- 国内：4年前イベント、ライブサイト、フラッグ帰国イベント
秋の機運醸成・Tokyo2020キックオフイベント
- 公式ホームページ（特設サイト「Rio to Tokyo」）、SNS：選手や大会の情報を発信

「リオの次は東京」というタイミングでメッセージを発信

- 1.東京2020大会をどのような大会にしたいのか
- 2.東京2020大会はどのような変革をもたらすのか

スポーツを通じて
日本・社会が変わる
きっかけとする

1.東京2020大会をどのような大会にしたいのか

※主にリオ大会中に使用

日本のベストを結集した
史上最もイノベティブな大会

- アスリート・ファーストの円滑で安全、安心な大会を提供する
- 既存施設の最大活用などでコストを抑え、持続可能な大会を実現する
- 最先端技術、新エネルギーを導入した未来志向の大会にする

多様性と調和の重要性を認識し
共生社会をはぐくむ
契機となる大会

- 2回目の夏のパラ大会を初めて開催する都市としてパラスポーツへの認知・理解を推進する
- アクセシビリティを向上させ、超高齢社会も見据えたインフラのモデルを示す

被災地の復興を発信し
世界の人々に
感謝の意を伝える大会

- 競技会場（宮城スタジアム）や被災地でのライブサイト、FHOで復興の姿を見せる
- 日本の元気な姿を世界に伝えることで、スポーツの力が社会の中で果たす役割を示す

オールジャパンで大会を支え
大会の成果を日本全体で共有

- ステークホルダーが一丸となって大会を成功させ、世界の人々に感動、喜びをもたらす
- 東京2020参画プログラム（今秋より）、聖火リレー、事前キャンプなどを通じて、日本全体で大会に参画し、日本全体にレガシーを遺す

2

TOKYO 2020

2.東京2020大会はどのような変革をもたらすのか

※主にリオ大会後に使用

多様性と調和の意識が高まり
ハード面、ソフト面で
共生社会が進む

- 人々が違いを乗り越え、意識、行動面でお互いを尊重する社会になる
- 競技会場や都市のアクセシビリティが向上し、有形レガシーとして後世に残る
- ボランティア文化の醸成、「おもてなし」精神の広がりや支え合いの精神が広がる
- 外国からの訪問者増などで国際化が進み、国際理解や多様性を重んじる社会になる

日本が元気を取り戻し
世界のポジティブな
変革につながる

- スポーツの価値が向上し、スポーツ人口の増加による健康長寿社会が促進される
- 文化・教育プログラムなどアクション&レガシープランの継承により成熟した社会が進む

3

TOKYO 2020



資料3-2

リオ大会関連事業に関する報告について

2016年7月25日

フラッグハンドオーバーについて

1 日時（日本時間）

オリンピック閉会式：8月22日（月）8：00～

パラリンピック閉会式：9月19日（月）8：00～

2 芸術パートの方向性

大会のビジョンを体現し、東京・日本の魅力を伝えることにより
2020年大会への期待を高めていく。

- オリンピック・パラリンピックの主役であるアスリートを通じて、
スポーツの楽しさ・素晴らしさを伝える。
- 次世代の若者や子供たちが参加できる機会を設ける。
- 2020年大会招致時にも世界に発信した、東日本大震災の際に
世界中の人々から差しのべられた支援への感謝の気持ちを表す。

3 「ありがとう」の人文字撮影

8分間のプレゼンテーションの中で、世界の人々に3つの感謝（①復興支援、②リオ大会の開催、③東京の開催都市決定）の意を伝える人文字を撮影した。



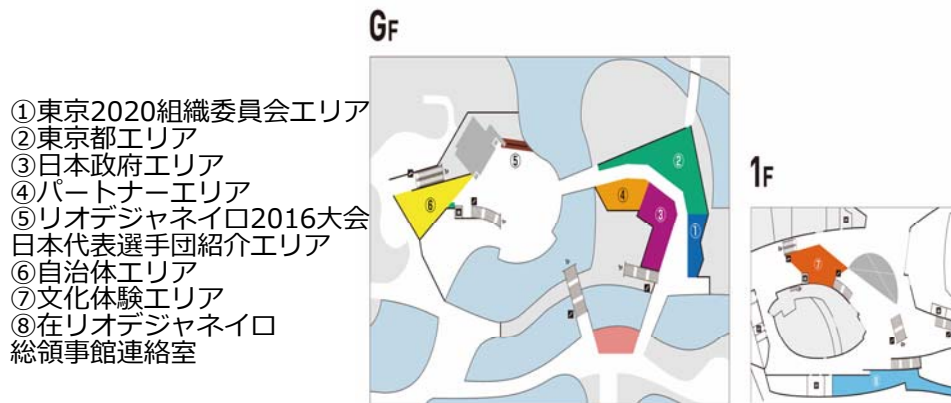
写真：Tokyo 2020 / Shugo TAKEMI

岩手県大槌町立大槌学園の生徒631名による「Thank you」の人文字撮影の様子

大槌学園の児童・生徒や先生からは、
 「大きな被害を受けたが立ち直った姿をみてほしい。」（6年生）
 「世界の方々にありがとうと伝えることができうれしい。」（9年生）
 「この機会に『自分達にも何かできる』と感じてほしい。」（校長先生）
 という前向きなコメントをいただいた。

| 撮影に協力ご協力いただいた27校 | | | | | 五十音順 |
|------------------|-----|-------------------------------|-----|--------------------------|------|
| 高等学校 | 岩手県 | 岩手県立高田高等学校 | 福島県 | 福島県立ふたば未来学園高等学校 | |
| | 東京都 | 東京都立白鷗高等学校 | 宮城県 | 宮城県利府高等学校 | 宮城② |
| 中学校 | 東京都 | 北区立稲付中学校 | 宮城県 | 気仙沼市立気仙沼中学校 | 宮城① |
| | | 江東区立砂町中学校 | | 利府町立しらかし台中学校 | 宮城② |
| | | 世田谷区立三宿中学校 | | 利府町立利府中学校 | 宮城② |
| | 福島県 | いわき市立中央台北中学校 | | 利府町立利府西中学校 | 宮城② |
| 小学校 | 岩手県 | 大槌町立大槌学園 【義務教育学校（小学中学一貫校）】 | 宮城県 | 気仙沼市立気仙沼小学校 | 宮城① |
| | 東京都 | 北区立梅木小学校 | | 利府町立青山小学校 | 宮城② |
| | | 墨田区立業平小学校 | | 利府町立しらかし台小学校 | 宮城② |
| | | 豊島区立池袋小学校 | | 利府町立菅谷小学校 | 宮城② |
| | | 東村山市立回田小学校 | | 利府町立利府小学校 | 宮城② |
| | | 武蔵村山市立第三小学校 | | 利府町立利府第三小学校 | 宮城② |
| | 福島県 | 福島市立大森小学校 | | 利府町立利府第二小学校 | 宮城② |
| 特別支援学校 | 宮城県 | 宮城県立利府支援学校 | 宮城② | ※宮城県は宮城①、宮城②の2つのグループで撮影。 | |

Tokyo 2020 JAPAN HOUSE エリアマップ



4

TOKYO 2020

Tokyo 2020 JAPAN HOUSE 各エリア紹介

①東京2020組織委員会エリア

東京2020大会のビジョン・アウトライン・エンブレム、新しく誕生する新国立競技場、追加種目など、東京2020大会の目指す大会イメージを紹介します。

②東京都エリア

東京2020大会の開催都市である東京の魅力を、「水の都」をテーマに据えてPRします。様々な体験型の展示を通じて、自然・暮らし・文化・技術、そして未来に向けて豊かな水が形づくり、進化しつづける東京の街の姿を紹介します。

③日本政府エリア

日本食のPRや、8Kの映像体験、食文化や伝統文化、観光情報など日本の魅力を紹介しします。

④パートナーエリア

東京2020大会のパートナー各社の出展エリアです。

5

TOKYO 2020

Tokyo 2020 JAPAN HOUSE 各エリア紹介

- ⑤ リオデジャネイロ2016大会 日本代表選手団紹介エリア
リオデジャネイロ2016大会に出場する日本代表選手を競技種目ごとに紹介するエリアです。また、日本代表選手が実際に着用するウェアの展示等も行います。

- ⑥ 自治体エリア
東京を除いた全国46の道府県から厳選された日本の各地域の四季折々の豊かな風景や、歴史的建造物、地域に伝わる伝統文化など、各地を代表する光景を一堂に会した写真の展示等をいたします。また、東京都以外の開催都市（北海道、宮城県、埼玉県、千葉県、神奈川県、静岡県）ベニユウの紹介を日本地図と写真により展示いたします。

- ⑦ 文化体験エリア
「茶道」、「浴衣」、「習字」、さらには、日本の祭りで親しまれる「ヨーヨー」など、日本文化の体験エリアをご用意しています。

- ⑧ 在リオデジャネイロ総領事館連絡室
外務省として総領事館の連絡室を設置し、日本からの観戦者や大会関係者の領事業務に関するご相談等に対応します。

東京 2020 オリンピックカウントダウンイベントについて

資料 3 - 3

目的

東京 2020 オリンピック大会開催まで4年という節目の7月24日にカウントダウンイベント「みんなのTokyo 2020 4 Years to Go!!」を開催し、メディアを通じて広くこのイベントの様子を発信することで、大会開催気運を醸成し、都民・国民の参画意識及び期待感を高める。「Rio to Tokyo」のメッセージの元、リオオリンピックを盛り上げ、4年後やってくる東京2020大会気運醸成につなげるイベントとする。

概要

タイトル: 東京 2020 オリンピック カウントダウンイベント 《実施済み》

みんなのTokyo 2020 4years to Go!!

日時: 2016年7月24日(日)10:00~17:00

*ステージイベントは15:00~16:30

主催: (公財)東京2020組織委員会、東京都

後援: (公財)日本オリンピック委員会

場所: 東京国際空港(羽田空港) 【国内線第2旅客ターミナルビル】

内容①: ステージイベント

- ・スペシャルトークショー 「みんなの輝き、つなげていこう。」
(1)「1964」と「2020」をつなぐ (2)「Rio」と「Tokyo」をつなぐ (3)「被災地」と「東京」をつなぐ
- ・折鶴・地球儀モニュメント
- ・フォトセッション

内容② 応援メッセージ&フォトスポット 【国内線第1旅客ターミナルビル】

- ・「Rio to Tokyo」応援メッセージ募集
- ・64年表彰台を活用したフォトスポット



(イメージ)



折鶴2020羽でできた地球儀



ステージイベント(イメージ)

スペシャルトークショー 出演者



三宅義信 前園真聖 萩原次晴 谷本歩実 田口亜希 聯合者 堀尾正明

内容③ 展示コーナー

【両ターミナルビル計3箇所】 (イメージ)

- ・Tokyo 2020情報展示
- ・1000km縦断リレー情報展示



※第一ターミナルについては7月31日まで延長して掲出

TOKYO 2020

リオ後のTokyo 2020 機運醸成について

資料3-4

■ 報告事項①

10月前半を“Tokyo 2020 Kick Off Week” と設定し、各種事業を一連の流れと捉えた戦略的なメディア露出を行う

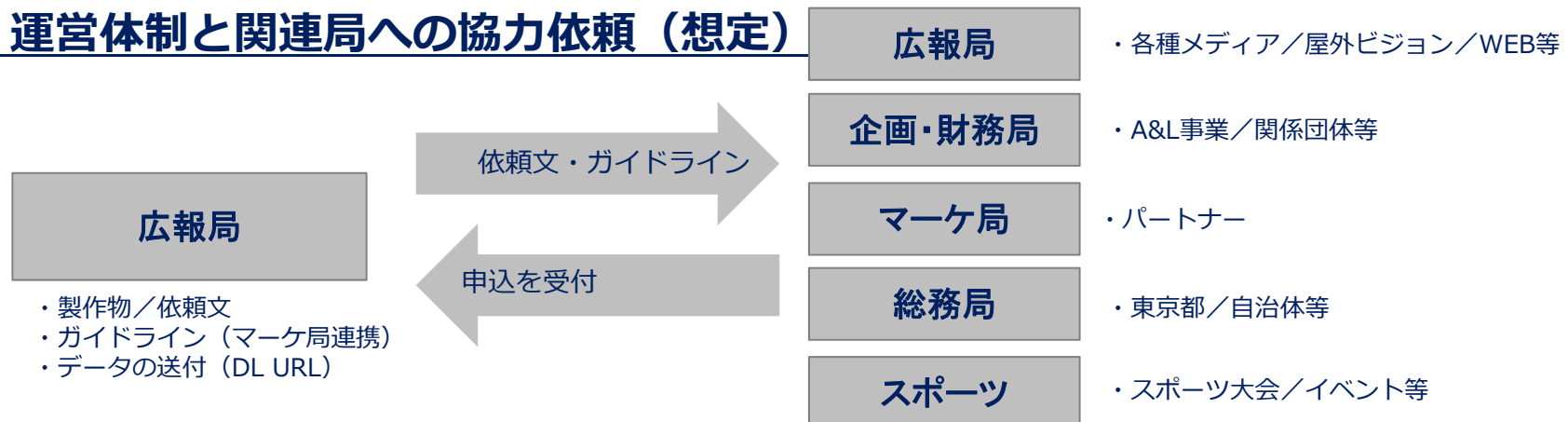
■ 報告事項②

リオ後は“いよいよ私たちの番だ”という意識を高める映像・グラフィックを制作し関係団体に対して保有する媒体提供を依頼し、日本中で露出し2020へ機運を高める

・ 映像・グラフィック内容

- 製作物 : 映像15s・30s・60s / グラフィックA4・B2
- 用途 : オフィシャルメディア / A&L事業 / パートナー施設・事業 / 関連団体媒体等
- 期間 : 8月依頼文送付 → 9月末データ送付 → 10月前半～年度内データ使用期間

・ 運営体制と関連局への協力依頼（想定）





TOKYO2020 大会ボランティアプログラムの方向性について

2016年7月25日

大会ボランティアプログラムの方向性

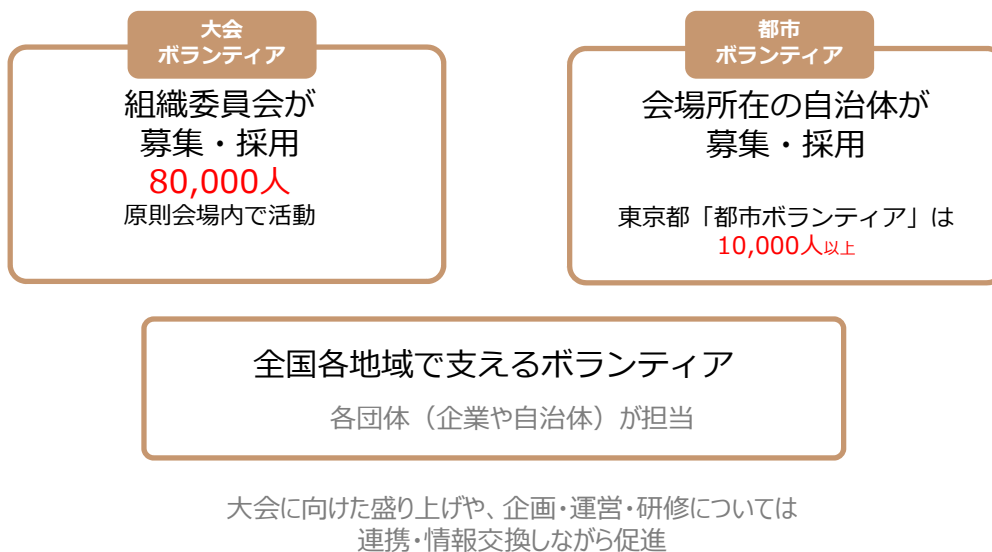
【位置づけ】

- 大会ボランティア企画・運営準備に向けた基本的方向性

【今後の進め方】

- リオ大会を参考に内容を検証し、10月以降にホームページ上で公表
- いただいた意見を今後の運営準備に反映
- ボランティアのネーミング検討(ロンドンは“Games Maker”)
- 2018年夏頃には募集要項を発表し、募集開始予定

オリンピック・パラリンピックの大会関連ボランティア



2

TOKYO 2020

オリンピック・パラリンピックの大会ボランティア

- 大会の印象を決める、運営の重要な担い手
- できるだけ多くの人に大会に参加いただき、大会の盛り上げを創出
- ユニフォーム支給や研修機会の提供あり
- 無償で、当日の宿泊および東京までの交通に関しては自己手配

※ボランティアとは※

一般的には「自発的な意志に基づき他人や社会に貢献する行為」を指してボランティア活動と言われており、活動の性格として、「自主性(主体性)」、「社会性(連帯性)」、「無償性(無給性)」等があげられる。(出典:厚生労働省「ボランティアについて」)

3

TOKYO 2020

オリンピック・パラリンピックの大会ボランティア

《大会ボランティア役割（例）》

- ・ イベントサービス …… 会場内で観客および大会関係者の誘導、チケットチェック、入場管理。過去大会では「大会の顔」とも称され、会場の熱気を直接感じられる。
- ・ 警備 …… 会場の安全・管理サポートなど。広く多くの方が携わることができるボランティアの1つ。安全な大会遂行の一端を担う重要な役割。
- ・ テクノロジーサービス… 大会関係者へのPC・携帯電話の貸し出しやサポートデスク。テクノロジー関係の知識を生かせる役割。
- ・ ハウスキーピング …… 選手村の居住棟における管理サポート（ハウスキーピング、リネン交換等）選手が競技に向けて集中できる環境づくりをサポートでき、日本ならではのおもてなしが提供できる役割。

TOKYO 2020 ボランティアのミッション（案）

Tokyo2020 大会ビジョン

スポーツには、世界と未来を変える力がある。
1964年の東京大会は日本を大きく変えた。
2020年の東京大会は

- ・ すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）
- ・ 一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）
- ・ そして、未来につなげよう（未来への継承）

を3つの基本コンセプトとし、史上最もイノベーティブで世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

Tokyo2020 Spirit

One Team for Our Dreams
～みんなの夢を実現する、一つのチーム

Respect／敬意 ～ひとは皆違う。だから素晴らしい。

Professionalism／責任 ～未来に誇れる仕事をしよう。

Courage／勇気 ～未知への挑戦が道をつくる。

Change／変革 ～変化を生み、時代をつくろう。

1つのチームで自己ベストを実現する。
～アスリートの、観客の、自分自身の～

TOKYO2020の大会ボランティアに望まれるもの(案)

望まれる経験等

- ・オリンピック・パラリンピック競技に関する知識／オリンピック・パラリンピック競技種目の観戦経験
- ・スポーツボランティア経験をはじめとするボランティア経験
- ・チームとして活躍できる(コミュニケーション能力)
- ・日本語に加え、英語やその他の言語が話せる

採用手続き等

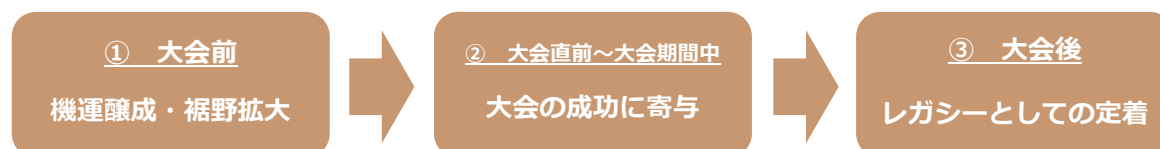
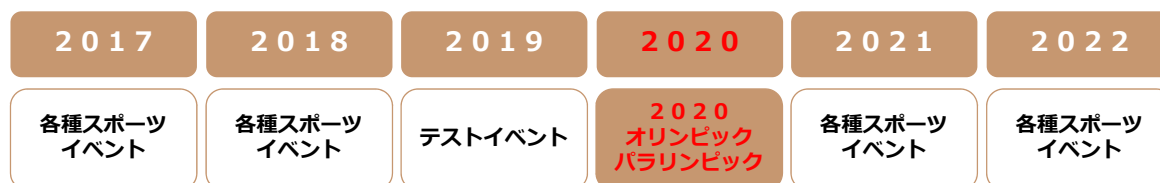
- ・手続き
募集、面接を経て決定。その後、全体・会場別・役割別の研修を受講
- ・年齢
2020年4月1日時点で18歳以上
- ・想定される活動時間
1日8時間×10日間

6

TOKYO 2020

ボランティアプログラムの方向性

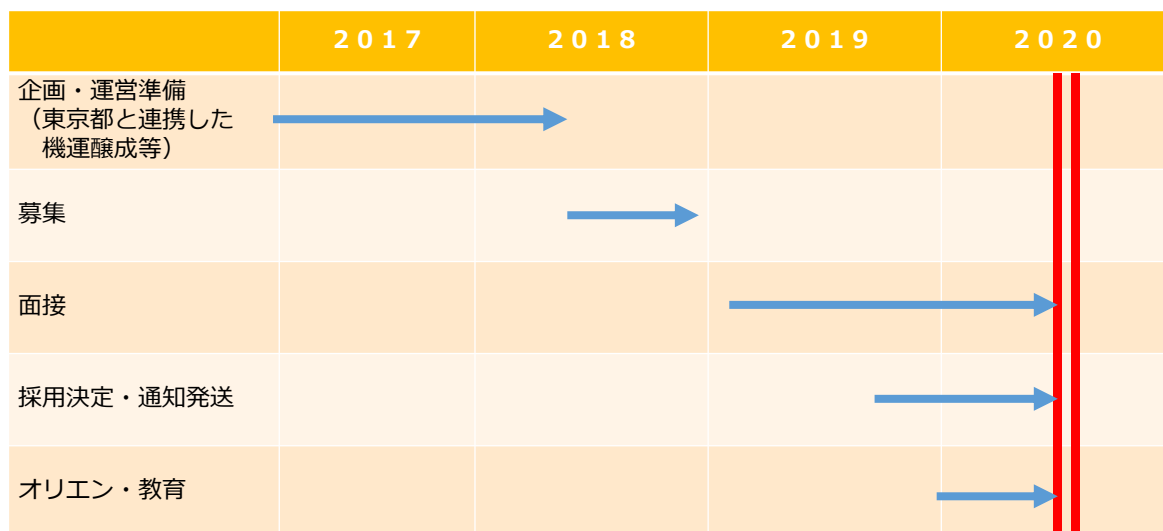
3フェーズに分けて、各種施策を検討



7

TOKYO 2020

全体スケジュール





チケットング関連事業について

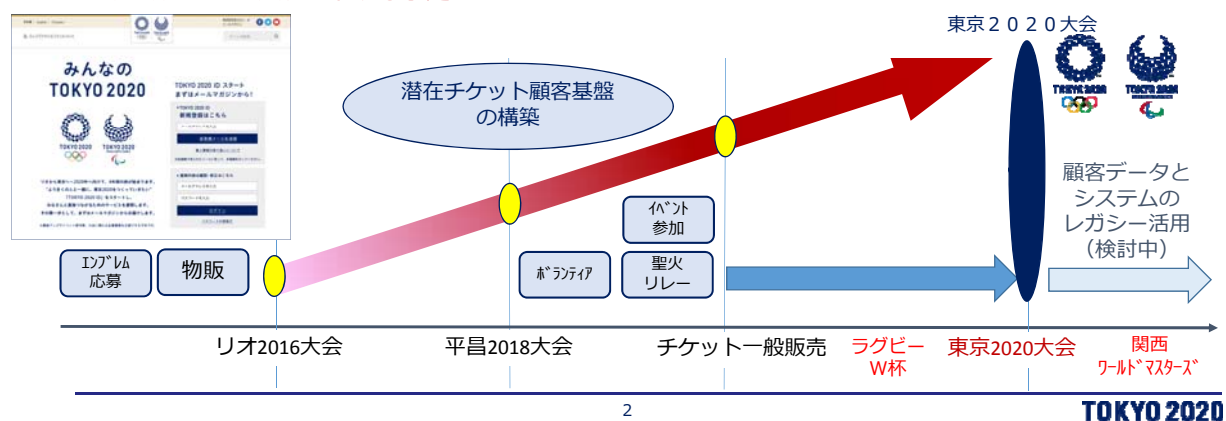
2016年7月25日

チケットング事業について

- | | |
|---|--|
| <p>□ Tokyo2020招致ファイルでの販売目標</p> <p>オリンピック： 683億円（84%） パラリンピック： 40億円（68.5%） 合計：約723億円（招致時レート）</p> | <p>□ 競技数/セッション数</p> <p>競技数：オリンピック 28競技（+5競技） パラリンピック 22競技 セッション数： 700以上 （オリンピックパラリンピック合計）</p> |
|---|--|
- チケットング事業のポイント
- 東京2020大会は、史上最大級のチケットング・イベントとなる
 - 多競技種目、多会場のチケットを、世界中の様々な公式流通経路で取扱うことが求められ、抽選や公式2次流通の仕組み、会場での認証管理、等を含め、適切なシステム構築とオペレーションが必要
 - チケットングは大会の重要な収入源の一つであると同時に、人々に“Once a life time experience”の感動を提供するサービス=Access to Dreams（IOCより）
 - より多くの人々に大会を経験していただけるよう、利用者の利便性等を考えた企画や仕組みづくりと、適切な情報提供が重要
 - 不正転売や偽造等の防止施策について、必要に応じて法制化の検討を含め、十分な対応が求められる

チケットティングと観客との関係構築について

- ▶ ロンドンでは、チケット発売開始前に、サインアップ・キャンペーン等により200万人のファン登録データベースを構築し、販売に貢献 ⇒ 早いタイミングでの統合・一元化した形態でのファンの基盤構築が重要
 - ▶ また、大会後にはスポーツ・イングランドが顧客データを継承し、スポーツ、文化、教育イベント等に活用
- ⇒ 東京でも、今夏より『TOKYO 2020 ID』サービスを開始、メールアドレスを登録して、メールマガジンをスタートする予定



2

TOKYO 2020

チケットティング事業スケジュール

| | スケジュール |
|---------------------|--------------------------------|
| 2016年7月 ～2017年3月 | ・チケットティングシステム/サービス内容・仕様調達方法の策定 |
| 2017年4月 ～2018年初旬 | ・システム開発期間 |
| 2018年初旬 ～夏 | ・システム販売前テスト運用期間 |
| 2018年夏 ～2019年初旬 | ・チケット販売開始 |

3

TOKYO 2020



Access to Dreams



持続可能性に配慮した運営計画 第一版について

2016年7月25日

1. 持続可能性に配慮した運営計画とは

大会を通して持続可能性を確保するためには、組織委員会のみならず全ての大会関係者がその確保に向けた取り組みを推進することが求められます。

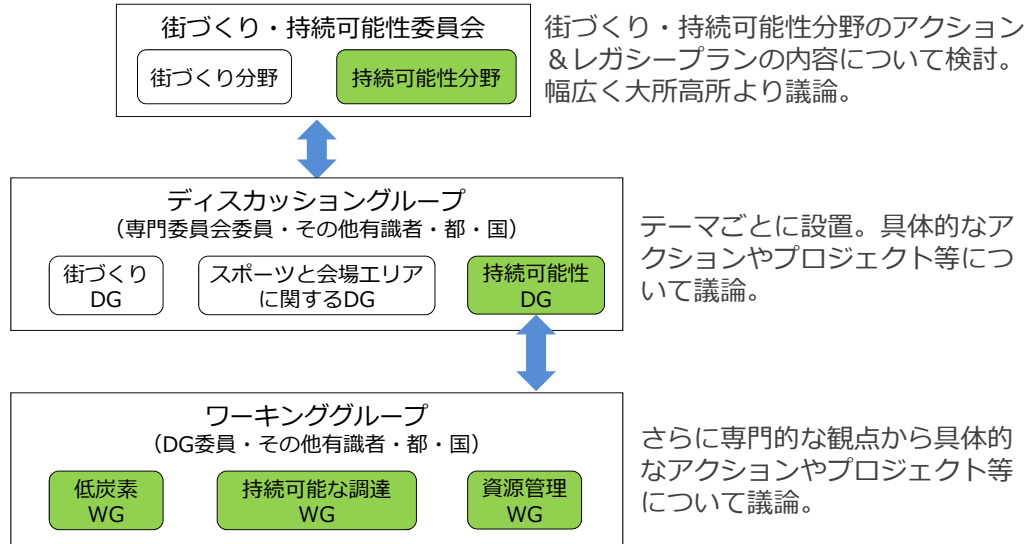
このため、本計画は東京2020大会の準備・運営を対象とし、**持続可能な大会の実現に向けて、関係者の拠り所**となるものとして、持続可能性に配慮した大会の準備・運営を行う上での考え方を示すものです。

計画では、組織委員会が**様々なデリバリーパートナー**と、どのように持続可能な大会を実現しようとしているかの**方針や目標、施策などを具体的に明記**します。

組織委員会、東京都、政府は、本計画を尊重して**それぞれの役割に応じた取組を実施**し、持続可能な大会の準備・運営に努めていきます。

なお、この計画はIOCから作成が求められているものです。

2. 検討体制



2

TOKYO 2020

3. 運営計画 フレームワーク (2016年1月29日発表)

< 東京2020大会が目指すべき持続可能性の方向 >

- ・ 環境だけでなく、社会、経済の側面を含む
- ・ 東京の特徴を活かす
(充実した都市基盤・安全性、おもてなし・もったいないといった日本的価値感、最先端テクノロジーの活用など)

< 想定される計画の論点 >

「持続可能な開発目標(SDGs : Sustainable Development Goals)」を含む世界的な議論の潮流や、WG/DGでの議論を踏まえ、以下の5項目を主要なテーマとして想定

- ・ 気候変動(ローカーボンマネジメント)
- ・ 資源管理
- ・ 水・緑・生物多様性
- ・ 人権・労働・公正な事業慣行等への配慮
- ・ 参加・協働、情報発信(エンゲージメント)



3

TOKYO 2020

4. 計画の構成

1. はじめに

東京2020大会における「持続可能性」の概念の重要性
東京2020大会が目指すべき持続可能性の方向について
計画の位置付け など

2. 東京2020大会が取り組む持続可能性に関する主要テーマ

- 2-1. 気候変動（ローカーボンマネジメント）
- 2-2. 資源管理
- 2-3. 大気・水・緑・生物多様性
- 2-4. 人権・労働・公正な事業慣行等への配慮
- 2-5. 参加・協働、情報発信（エンゲージメント）

3. 計画の実現に向けたツール

- (1) ISO20121の導入による適切な大会運営の確保
- (2) 「持続可能性に配慮した調達コード」の策定・運用
- (3) オリンピック大会影響調査
- (4) 環境アセスメント評価の実施

参考資料

5. 計画の概要

1. はじめに

- (1) はじめに
計画策定の目的、位置付け、今後の進め方
- (2) 東京2020大会における「持続可能性」の概念の重要性
世界の動き、オリンピック・パラリンピックにおける動き
- (3) 東京2020大会ビジョンとの関わり
- (4) 目指すべき持続可能性の方向について
充実した都市基盤や安全性をベースに、「おもてなし」や「もったいない」といった日本的価値観、最先端テクノロジーなど、東京や日本の独自性についても意識
- (5) 計画の位置付け
関係者の拠り所として、方針や目標、施策などを具体的に明記
デリバリーパートナーは、本計画も踏まえつつそれぞれの役割に応じた取組を実施
- (6) 関係組織（役割分担）、検討体制
- (7) 大会に関するスケジュール

2. 東京2020大会が取り組む持続可能性に関する主要テーマ

2-1. 気候変動(ローカーボンマネジメント)

(1) 理念・戦略・目標

環境負荷の最小化を目指し、計画段階から持続可能性への最大限の配慮と環境の負荷軽減を実施し、世界に冠たる環境技術を有する国として、環境先進都市東京として、さらなるCO₂等の削減を進めていく。

あらゆる施策を総動員して脱炭素化の礎を築くこととする。

(2) 目標達成に向けた施策

- ① CO₂排出量の適切な把握
- ② 排出回避（会場計画、計画段階からの配慮）
- ③ 排出削減（省エネルギー化（建築物、設備・機器）、エネルギー管理、再生可能エネルギーの導入、環境負荷の少ない輸送、CO₂以外の温室効果ガス対策）
- ④ 参加・協働、情報発信

2-2. 資源管理

(1) 理念・戦略・目標

新規資源投入量や廃棄物処理に伴う環境負荷（埋立処分量、温室効果ガス排出量等）の最小化を図ることによって、持続可能な資源利用の確保に向け努力する。

「資源効率性（Resource Efficiency）」や「循環経済（Circular Economy）」のモデルとなる取組を実践し、世界の人々と共有する。

(2) 目標達成に向けた施策

- ① 廃棄物発生から処理までの適切な把握
- ② 省資源・廃棄物の発生抑制
- ③ 再使用・再生利用
- ④ 熱回収・エネルギー回収
- ⑤ 参加・協働、情報発信

2-3. 大気・水・緑・生物多様性

(1) 理念・戦略・目標

自動車の使用等による大気汚染、建設工事や運営に伴う騒音や水質汚濁等について、その環境負荷の最小化を図る。

都心の自然環境再生の核となる豊かな緑と水辺を有するベイエリアなどにおいて、そこに息づく多様な生物への配慮と豊かな緑地の創造により、自然環境と共生する快適な都市環境を創出する。

(2) 目標達成に向けた施策

- ① 大気環境・水環境等の向上
- ② 生物多様性の確保
(生物多様性に配慮した資源の消費、緑地の創出、競技会場等の緑化、自然環境の再生・生物多様性の確保、自然とのふれあいの場)
- ③ 良好な景観の形成
- ④ 参加・協働、情報発信

2-4. 人権・労働・公正な事業慣行等への配慮

(1) 理念・戦略・目標

大会ビジョンの「基本コンセプト」の一つである「多様性と調和」は、まさに本テーマの基盤を成す考え方であり、組織委員会のみならず全ての大会関係者が大会の全ての場面において、その実現に向けた取組を推進する。

(2) 目標達成に向けた施策

- ① 大会に関わる全ての人々に対する配慮
- ② スタッフ・ボランティアの人権・労働への適正な配慮
- ③ 公正な事業慣行等への配慮

2-5. 参加・協働、情報発信(エンゲージメント)

(1) 理念・戦略・目標

学識経験者や公的機関、民間セクター、各種団体（NGO/NPO、業界団体、学界等）等、多くの方々の意見を伺いながら、大会の準備・運営に関する持続可能性の取組を検討し、協働で取組む。

エンゲージメントの推進にあたっては、大会の目指す持続可能性の方向性を積極的に発信し、理解を深めていただくとともに、それぞれの主体が持つ専門的な見地からアドバイスをいただき、東京2020大会の持続可能性のレベルを協働で高めていく。

(2) 目標達成に向けた施策

- ① 参加・協働による大会準備・運営の推進
様々な主体の参加・協働、教育、全国活動
- ② 持続可能性の重要性についての普及啓発(情報発信)の推進

3. 計画の実現に向けたツール

(1) ISO20121の導入による適切な大会運営の確保

イベントの持続可能性をサポートするために策定されたマネジメントシステムの国際規格ISO20121の枠組みを導入し、組織委員会におけるESMSを構築・運用する。

(2) 「持続可能性に配慮した調達コード」の策定・運用

持続可能な大会の実現に向けて、組織委員会が調達する全ての物品・サービス及びライセンス製品を対象とする「持続可能性に配慮した調達コード」を策定し、運用する。

(3) オリンピック大会影響調査

招致段階（2011年）から大会開催後3年後（2023年）までの計12年間のデータを収集・分析し、東京2020大会が環境・社会文化・経済に与える影響調査を実施する。

(4) 環境アセスメント評価の実施

東京都は、都内の全ての競技会場、屋外競技、大会計画等を対象とし、大会開催前・中・後の各時点における影響について予測・評価する。必要に応じて追加の対策を講じる。



「Tokyo 2020 アクセシビリティ・ガイドライン」について

2016年7月25日

1. アクセシビリティ・ガイドラインの位置づけ

国際パラリンピック委員会（以下、IPC）が定める「アクセシビリティガイド」と国内関係法令に基づき、東京2020両大会の各会場とそのアクセシブルルート、輸送手段、組織委員会による情報発信・表示サイン等の指針、大会スタッフ等のトレーニングに活用するもの。

2. 検討経緯

- ① 平成26年11月にアクセシビリティ協議会を立ち上げ。
- ② 以後、障がい者団体を含む当事者団体の要望も踏まえ、関係行政機関、関係自治体、障がい者スポーツ団体等の参画を得て、協議を積み重ねてきた。
- ③ 会場等の設計に必要なハード面の一部基準は、本年1月に先行してIPCの承認を受け「ハード編」暫定基準として関係者で情報共有。（第10回理事会報告事項）
- ④ 本年6月17日の第4回協議会において、前述の「ハード編」に、サービスカウンターやエレベーター内部の操作盤等の配置基準、輸送機関に関わる指針、組織委員会による情報発信・表示サインの指針、大会スタッフ等のトレーニングの指針等を追加し、ガイドライン全体指針としてとりまとめた。

3. 今後のスケジュール

- ① 7月中旬に組織委員会がIPCに承認申請する。
- ② 本年度内にはIPCの最終承認を得て、一般公開を予定している。

4. ガイドラインを踏まえた整備の考え方

- ① ガイドラインを踏まえた整備を実現する際には、適用対象施設の所有者・管理者等に対し、それぞれの計画に基づき、ガイドラインに即した施設建設・改修工事を実施するよう依頼し、まずはレガシーとなる恒常的な施設としての環境整備を働きかける。
- ② ただし、恒常的な整備が困難な場合、仮設による整備、ソフト的対応（専用車による移動支援、ボランティアによるサポート等）によりサービス水準を確保する。

5. ガイドライン内容の抜粋（ハード編以外）

| 項目 | ガイドライン |
|----------------------------------|--|
| 視覚障がい者誘導用ブロック (点状ブロック、線状ブロック) | <ul style="list-style-type: none">• 色は黄色を原則とし、周辺は凹凸を抑えた平坦な仕上げとする。ブロックと周辺部とのコントラストと感触の違いを確保することが望ましい。• 形状、寸法及びその配列は、JIS規格によることが原則。• 視覚に障がいのある観客に案内する動線には、セキュリティゲートまで連続的にブロックを設置するが、その設置可否及び方法について、大会期間固有の状況を考慮し、視覚や歩行に制約のある方の意見を踏まえて計画する。 |

5. ガイドライン内容の抜粋（ハード編以外）

| 項目 | ガイドラインを踏まえた参考図 |
|-----------------|--|
| エレベーター内の操作盤の位置等 | <p>車いす使用者対応操作盤は車いす使用者が利用しやすい位置（かご内側面中心）に取り付ける。また、両側に取り付ける。</p> |

4

TOKYO 2020

5. ガイドライン内容の抜粋（ハード編以外）

| 項目 | ガイドラインを踏まえた参考図 |
|---------------|---|
| トイレ機能の分散配置を推奨 | <ul style="list-style-type: none"> 多機能トイレを補完するため、男女別トイレ内に車いすで出入りし便器への移乗スペースを確保した上でオストメイト用設備などを備えた「簡易型多機能便房」や、単機能の「個別機能を備えた便房」を組み合わせ。 |

5

TOKYO 2020

5. ガイドライン内容の抜粋（ハード編以外）

| 項目 | ガイドライン |
|------------------|--|
| 組織委員会による 情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> • 刊行物は、紙面のコントラスト・光沢、文字の色・大きさ、フォントの種類・太さ、行間、文字間隔等において読みやすい配慮が必要。 • 点字、テキストデータ、拡大文字または音声形式、触知可能な地図等の代替方式でも情報提供できることが望ましい。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> • ウェブサイトは、情報は読み上げソフトに対応する。 • 表示サインには、国際的に認められたシンボルを利用することが望ましく、文字やシンボルには背景色とコントラストのはっきりした色彩を用いる。 • 表示サインは、アクセシブルルートにある鉄道駅等の交通機関、交差点エリア、アクセシブルな会場入口・トイレへの通路などに配置する。 <p>注) 具体的なデザイン・シンボルの採否は、ガイドライン外で検討。</p> |

6

TOKYO 2020

5. ガイドライン内容の抜粋（ハード編以外）

| 項目 | ガイドライン |
|---------------------------------------|--|
| 大会スタッフ等 に対する アクセシビリティ トレーニング | <p>個人の態度やコミュニケーション上のバリア、誤解は、建築物における構造的な障害よりも強固なバリアになりうることから、大会サービスを提供する上で、大会スタッフ・ボランティアには、次の3段階でトレーニングを実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 障がい者等に対する一般的なエチケット／アウェアネストレーニング ② 大会／任務別のアクセシビリティトレーニング ③ 会場固有のアクセシビリティトレーニング <p>注) 具体的なトレーニング方法・実施時期の決定は、ガイドライン外で検討。</p> |

7

TOKYO 2020

事前キャンプガイド<初版>の公開について

資料8-1

事前キャンプとは

大会に参加するアスリートのコンディション調整やパフォーマンスの維持・向上、最終調整などを目的に、各国・地域のNOCやNPCなどが任意に実施するトレーニング

<組織委員会の役割>
リオ大会に合わせて国内の良質なトレーニング環境をキャンプ地として各国・地域のNOC/NPCに紹介



事前キャンプガイドの作成・公開

これまでの経緯

- 15.01.15 事前キャンプガイド 応募要項の公表
応募要項説明会 (2/13,24,27,3/2)
※全国から448の自治体が参加
- 15.04.01 申請登録（データ入力）の受付開始
- 16.03.31 ガイド初版掲載分のデータ入力締切
ガイド掲載の意思が示された件数 … 244 件
(関連する自治体数) … 279 自治体
掲載が見込まれる練習施設の数 … 650 施設
- 16.07.15 ガイド初版掲載データの確定

ガイド<初版>について



<参考>
掲載数
London2012
約600施設
Rio2016
約170施設

公開日：2016年8月5日（金）
言語：日本語、英語、フランス語
掲載数：キャンプ地（自治体） … 151 件
練習施設（会場） … 286 件
URL：https://pregamestraining.tokyo2020.jp

ガイドの周知について

- 16.08.07 ジャパンハウス レセプションでの公開
- 16.08. 選手団団長会議でのプレゼンテーション
- 16.09. NOC/NPC 向け専用ウェブサイトでの配信
- 16.11. NOC/NPC 開催都市訪問時での周知 etc.

<参考：連携機関の取組>
内閣官房：ホストタウン構想（※1） … 登録数91件
全国知事会：Sports Camp Japan（※2） … 566自治体
※1:参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を支援する事業
※2:全国知事会が提供するスポーツ合宿マッチングサイト

各機関と連携しオールジャパンで事前キャンプ誘致の取り組みを推進

1

TOKYO 2020

事前キャンプガイド<初版>の公開について 【別紙1】

都道府県別 ガイド掲載施設数

| 都道府県名 | 自治体数 | 施設数 | 都道府県名 | 自治体数 | 施設数 | 都道府県名 | 自治体数 | 施設数 |
|-------|------|-----|-------|------|-----|-----------|------------|------------|
| 北海道 | 5 | 11 | 石川県 | 4 | 6 | 岡山県 | 1 | 1 |
| 青森県 | 1 | 1 | 福井県 | 3 | 4 | 広島県 | 4 | 10 |
| 岩手県 | 2 | 2 | 山梨県 | 6 | 9 | 山口県 | 4 | 5 |
| 宮城県 | | | 長野県 | 5 | 7 | 徳島県 | 1 | 1 |
| 秋田県 | | | 岐阜県 | 3 | 3 | 香川県 | 2 | 2 |
| 山形県 | 4 | 4 | 静岡県 | 12 | 22 | 愛媛県 | | |
| 福島県 | 3 | 7 | 愛知県 | 3 | 9 | 高知県 | 3 | 4 |
| 茨城県 | 7 | 11 | 三重県 | 1 | 1 | 福岡県 | 3 | 12 |
| 栃木県 | 5 | 10 | 滋賀県 | 1 | 1 | 佐賀県 | 1 | 1 |
| 群馬県 | 1 | 5 | 京都府 | 2 | 3 | 長崎県 | 2 | 6 |
| 埼玉県 | 7 | 8 | 大阪府 | 2 | 5 | 熊本県 | 2 | 5 |
| 千葉県 | 2 | 3 | 兵庫県 | 4 | 8 | 大分県 | 10 | 22 |
| 東京都 | 12 | 21 | 奈良県 | 1 | 1 | 宮崎県 | 3 | 13 |
| 神奈川県 | 5 | 13 | 和歌山県 | | | 鹿児島県 | 1 | 1 |
| 新潟県 | 7 | 14 | 鳥取県 | 1 | 7 | 沖縄県 | | |
| 富山県 | 2 | 2 | 島根県 | 3 | 5 | 合計 | 151 | 286 |

2

TOKYO 2020

事前キャンプガイド<初版>の公開について【別紙2】

競技種目別 ガイド掲載施設数 <オリンピック競技> (延べ数)

| 競技種目名 | 掲載数 | 競技種目名 | 掲載数 | 競技種目名 | 掲載数 |
|-------------|-----|----------------|-----|------------|------------|
| アーチェリー | 5 | 自転車 (BMX) | | 近代五種 | |
| 陸上競技 | 63 | 自転車 (マウンテンバイク) | 1 | ボート | 6 |
| 陸上競技 (ロード) | 7 | 馬術 (障害馬術) | | ラグビー | 34 |
| 水泳 (競泳) | 21 | 馬術 (馬場馬術) | | セーリング | 5 |
| 水泳 (シンクロ) | 13 | 馬術 (総合馬術) | | 射撃 (ライフル) | 2 |
| 水泳 (水球) | 13 | フェンシング | 13 | 射撃 (クレー) | 2 |
| 水泳 (飛び込み) | 11 | サッカー | 20 | 卓球 | 34 |
| バドミントン | 25 | 体操 (体操競技) | 12 | テコンドー | 4 |
| バスケットボール | 47 | 体操 (新体操) | 10 | テニス | 7 |
| ボクシング | 4 | 体操 (トランポリン) | 11 | トライアスロン | 4 |
| カヌー (スプリント) | 4 | ゴルフ | 17 | バレーボール | 48 |
| カヌー (スラローム) | 2 | ハンドボール | 14 | ビーチバレーボール | |
| 自転車 (ロード) | 3 | ホッケー | 11 | ウエイトリフティング | 5 |
| 自転車 (トラック) | 3 | 柔道 | 36 | レスリング | 14 |
| | | | | | 531 |

3

TOKYO 2020

事前キャンプガイド<初版>の公開について【別紙3】

競技種目別 ガイド掲載施設数 <パラリンピック競技> (延べ数)

| 競技種目名 | 掲載数 | 競技種目名 | 掲載数 |
|--------------|-----|--------------|-----------|
| アーチェリー | 1 | パワーリフティング | 2 |
| 陸上競技 | 24 | ボート | 1 |
| 水泳 | 8 | ウィルチェアラグビー | |
| バドミントン | | 射撃 | 2 |
| 車椅子バスケットボール | 11 | 卓球 | 10 |
| ボッチャ | | 車いすテニス | 2 |
| カヌー | 1 | トライアスロン | 2 |
| 自転車競技 (ロード) | | シッティングバレーボール | 4 |
| 自転車競技 (トラック) | 1 | テコンドー | |
| 馬術 | | | |
| 車椅子フェンシング | 1 | | |
| 視覚障害者5人制サッカー | 6 | | |
| ゴールボール | 6 | | |
| 柔道 | 13 | | |
| | | | 95 |

オリンピック競技
531施設
パラリンピック競技
95施設

計 626施設

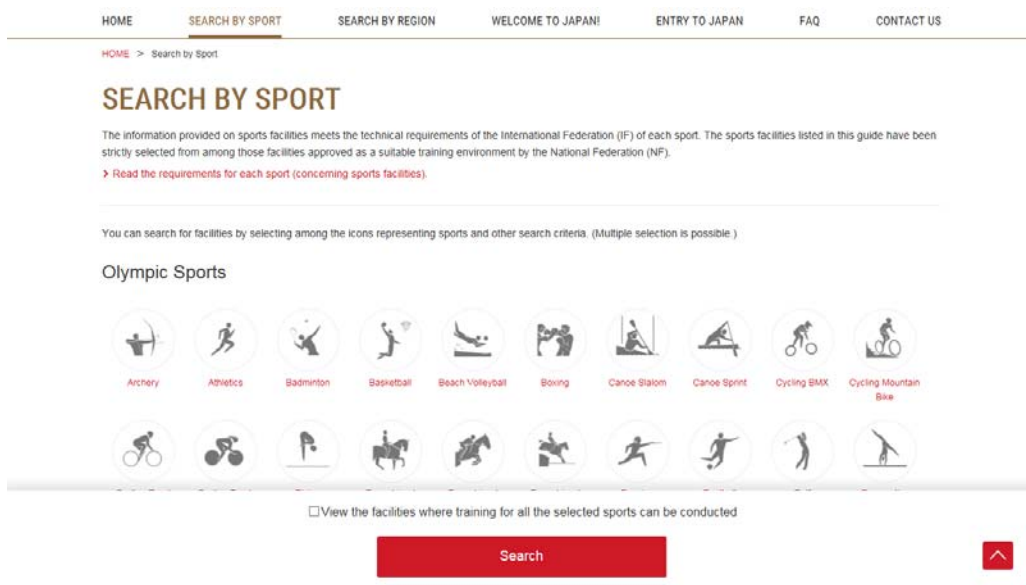
4

TOKYO 2020



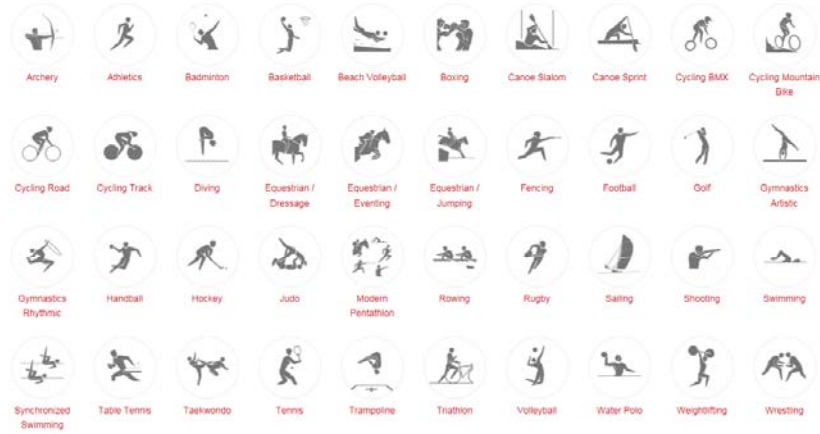
Webサイト イメージ画面

1



2

Olympic sports



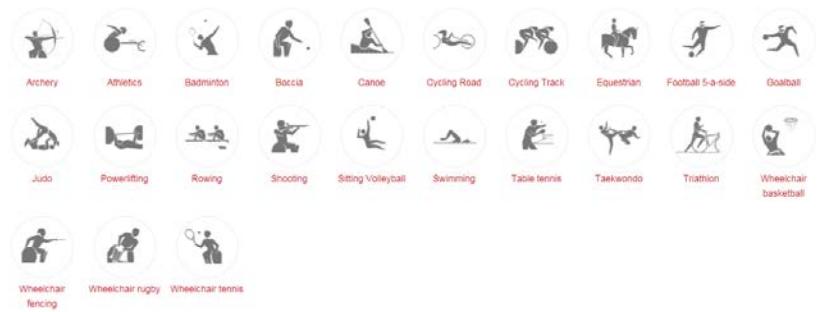
View the facilities where training for all the selected sports can be conducted

Search



3

Paralympic Sports



Add other search criteria

View the facilities where training for all the selected sports can be conducted

Search



4

HOME > Search by region

SEARCH BY REGION

Enter the name or address of a sports facility.

> 1 Hokkaido and Tohoku Regions
 > 2 Kanto Region
 > 3 Chubu Region

> Hokkaido > Aomori > Iwate
 > Ibaraki > Tochigi > Gunma
 > Niigata > Toyama > Ishikawa

5

HOME > Search results

SEARCH RESULTS

Results 1-5 of 5 Sort by distance from the nearest airport ▼ Sort by distance from Tokyo ▼

search

Enter the name or address of a sports facility.

Select Regions

Select area

Search

Olympic Sports

Archery Athletics
 Badminton Basketball

Yoshida Fureai Park (Multi-purpose open space)

6

HOME > Niigata > Tsubame City > Yoshida Fureai Park (Multi-purpose open space)

YOSHIDA FUREAI PARK (MULTI-PURPOSE OPEN SPACE)



Yoshida Fureai Park (Yoshida Fureai Park)



★ Add to List

Print

About this camp ground

Consultation

Tsubame City

466 Daibo, Tsubame-shi, Niigata

<http://www.city.tsubame.niigata.jp/en/index.html>

Division in charge of Camps

Board of Education Social Education Division
Sports Promotion Office

Phone number

+81-256-77-8368

Contact the camp (English only)

Tweet

Share

7

Nearest airport Niigata Airport (KIJ)

Distance from nearest airport 34.2km

Distance from nearest train station 2.35km

Opens at: 09:00

Closes at: 17:00

Year construction complete 1990

Year(s) repair work done 2008



Contact the camp (English only)

★ Add to List

This facility provides training areas for the following sports:

Olympic Sports

Archery

Paralympic Sports

Archery

Average Temperature : 13.9°C

Upper : Maximum Temperature Middle : Average Temperature Lower : Minimum Temperature

| Jan | Feb | Mar | Apr | May | Jun |
|------|------|------|------|------|------|
| 4.8 | 5.3 | 9.4 | 14.9 | 20.7 | 25.3 |
| 2.1 | 2.3 | 5.4 | 10.5 | 16.3 | 21.5 |
| -0.3 | -0.4 | 2 | 6.3 | 12.6 | 18.5 |
| Jul | Aug | Sep | Oct | Nov | Dec |
| 29.3 | 31.2 | 27.4 | 21.1 | 14.4 | 7.7 |
| 25.6 | 27.4 | 23.4 | 17.2 | 10.7 | 4.7 |
| 22.7 | 24.3 | 19.9 | 13.6 | 7.3 | 2 |

Rainfall (mm)

| Jan | Feb | Mar | Apr | May | Jun |
|-------|------|-------|-------|-------|-------|
| 148.4 | 130 | 135.1 | 102.6 | 100.6 | 106.7 |
| Jul | Aug | Sep | Oct | Nov | Dec |
| 72.8 | 71.8 | 68.4 | 65.6 | 68.8 | 74.2 |

Humidity (%)

| Jan | Feb | Mar | Apr | May | Jun |
|------|------|------|------|------|------|
| 72.8 | 71.8 | 68.4 | 65.6 | 68.8 | 74.2 |
| Jul | Aug | Sep | Oct | Nov | Dec |
| 76.8 | 74.4 | 71.4 | 70 | 72.8 | 75.2 |

Area where this camp ground is located

8

TSUBAME CITY



Bunsui Oiran Dochu Festival(Bunsui Oiran Dochu Festival)



Address 1934 Yoshidanishiota, Tsubame-shi, Niigata

search

Enter the name or address of a sports facility.

Select Regions

All regions ▾

Select area

Niigata ▾

Search

Olympic Sports ▲

Archery Athletics

Badminton Basketball



9

ENTRY TO JAPAN

- ▼ General guidelines
- ▼ Visas
- ▼ Bringing luggage and pharmaceuticals into Japan
- ▼ Vaccinations
- ▼ Major international airports



General guidelines

This section provides basic information about entering Japan. Please complete the necessary entry procedures after consulting with the local government where your pre-games camp ground is located and with the facility operator and contacting a Japanese embassy or consulate in your county.



Visas

The type of visa that athletes and officials will need to enter Japan, if any, depends on the traveler's country (region) of citizenship and the purpose and duration of the visit.

Japan does not require citizens of certain countries (regions) to obtain a visa for stays of 90 days or less during which they will not be receiving compensation for work performed. See the list of countries and regions whose citizens are eligible for visa exemptions at the following URL: <http://www.mofa.go.jp/j/info/visit/visa/short/ovvisa.html>

Review detailed information about entry procedures at the following URL and apply to a Japanese embassy or consulate overseas with the



10

東京 2020 スポンサー
(平成 28 年 7 月 25 日時点)

○ゴールドパートナー

| | 発表日 | 企業名 | カテゴリー |
|----|----------------------|---------------------|---|
| 1 | 平成 27 年 1 月 26 日 (月) | 日本電信電話株式会社 (NTT) | 通信サービス |
| 2 | 1 月 27 日 (火) | アサヒビール株式会社 | ビール&ワイン |
| 3 | 2 月 18 日 (水) | キヤノン株式会社 | スチルカメラおよびデスクトップ・プリンター |
| 4 | 2 月 19 日 (木) | 日本電気株式会社 (NEC) | パブリックセーフティ先進製品 (生体認証、行動検知・解析、ドローン)、ネットワーク製品 (SDN、有線ネットワーク、無線ネットワーク) |
| 5 | 2 月 19 日 (木) | 富士通株式会社 | データセンターハードウェア |
| 6 | 3 月 18 日 (水) | JXエネルギー株式会社 | 石油、ガス、電気供給 |
| 7 | 3 月 20 日 (金) | 東京海上日動火災保険株式会社 | 損害保険 |
| 8 | 3 月 20 日 (金) | 日本生命保険相互会社 | 生命保険 |
| 9 | 3 月 25 日 (水) | 野村ホールディングス株式会社 | 証券 |
| 10 | 4 月 6 日 (月) | 株式会社アシックス | スポーツ用品 (スポーツアパレル及び競技用具) |
| 11 | 4 月 14 日 (火) | 株式会社みずほフィナンシャルグループ | 銀行 |
| 12 | 4 月 14 日 (火) | 株式会社三井住友フィナンシャルグループ | 銀行 |
| 13 | 4 月 20 日 (月) | 三井不動産株式会社 | 不動産開発 |
| 14 | 10 月 16 日 (金) | 株式会社明治 | 乳製品、菓子 |
| 15 | 11 月 26 日 (木) | 株式会社 LIXIL | 住宅設備部材及び水回り備品 |

東京 2020 スポンサー
(平成 28 年 7 月 25 日時点)

○ パラリンピックゴールドパートナー

IOC と契約するオリンピック TOP パートナーのうち、東京 2020 パラリンピック競技大会の権利を取得しているパートナー

| | 発表日 | 企業名 | カテゴリー |
|---|----------------------|------------|-------------------|
| 1 | ※ | Atos | 情報技術 |
| 2 | ※ | OMEGA | 時計計測システム等 |
| 3 | 平成 28 年 3 月 10 日 (木) | 株式会社ブリヂストン | タイヤ及びゴム製品 (免震ゴム等) |

※ Atos, OMEGA は、マーケティングプラン契約 (東京 2020 と IOC の間で 2014 年 11 月 14 日に締結) において、東京パラリンピック競技大会の権利を付与されることが定められている。

東京 2020 スポンサー
(平成 28 年 7 月 25 日時点)

○オフィシャルパートナー

| | 発表日 | 企業名 | カテゴリー |
|----|----------------------|---------------------|---------------------------------|
| 1 | 平成 27 年 6 月 15 日 (月) | 全日本空輸株式会社 | 旅客航空輸送サービス |
| 2 | 6 月 15 日 (月) | 日本航空株式会社 | 旅客航空輸送サービス |
| 3 | 7 月 27 日 (月) | 東京ガス株式会社 | ガス・ガス公共サービス |
| 4 | 8 月 10 日 (月) | ヤマトホールディングス株式会社 | 荷物輸送サービス |
| 5 | 8 月 20 日 (木) | 日本郵政株式会社 | 郵便 |
| 6 | 10 月 20 日 (火) | セコム株式会社 | セキュリティサービス&プランニング |
| 7 | 10 月 20 日 (火) | 総合警備保障株式会社 | セキュリティサービス&プランニング |
| 8 | 平成 28 年 1 月 22 日 (金) | 株式会社読売新聞東京本社 | 新聞 |
| 9 | 1 月 22 日 (金) | 株式会社朝日新聞社 | 新聞 |
| 10 | 1 月 22 日 (金) | 株式会社日本経済新聞社 | 新聞 |
| 11 | 1 月 22 日 (金) | 株式会社毎日新聞社 | 新聞 |
| 12 | 2 月 24 日 (水) | TOTO 株式会社 | 水回り備品 |
| 13 | 2 月 29 日 (月) | 三菱電機株式会社 | エレベーター、エスカレーター、 ムービングウォーク |
| 14 | 3 月 28 日 (月) | 味の素株式会社 | 調味料、乾燥スープ、 アミノ酸ベース顆粒、冷凍食品 |
| 15 | 3 月 31 日 (木) | KNT-CT ホールディングス株式会社 | 旅行業務およびナショナルトリップホスピ タリティサービス |

東京 2020 スポンサー
(平成 28 年 7 月 25 日時点)

○オフィシャルパートナー（続き）

| | 発表日 | 企業名 | カテゴリー |
|----|---------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 16 | 平成 28 年 3 月 31 日（木） | 株式会社ジェイティービー | 旅行業務およびナショナルトリップホスピタリティサービス |
| 17 | 3 月 31 日（木） | 東武トップツアーズ株式会社 | 旅行業務およびナショナルトリップホスピタリティサービス |
| 18 | 4 月 15 日（金） | キッコーマン株式会社 | ソース（しょうゆ含む）、酢、みりん、料理酒 |
| 19 | 4 月 27 日（水） | 株式会社エアウィーヴ | 寝具 |
| 20 | 6 月 7 日（火） | 東京地下鉄株式会社 | 旅客鉄道輸送サービス |
| 21 | 6 月 7 日（火） | 東日本旅客鉄道株式会社 | 旅客鉄道輸送サービス |
| 22 | 6 月 9 日（木） | シスコシステムズ合同会社 | ネットワーク製品 |
| 23 | 6 月 23 日（木） | 日清食品ホールディングス株式会社 | カップ麺、袋麺、チルド麺、冷凍麺 |
| 24 | 7 月 5 日（火） | イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社 | 語学トレーニング |